

体験イベント実施中
参加者には記念品
を贈呈！

東京大学 空間情報科学研究センター

Center for Spatial Information Science

<http://shiba.iis.u-tokyo.ac.jp>

専門分野 空間情報工学

工学系研究科社会基盤学専攻

新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻

実世界情報のセンシングや統合を通じて、実世界に起こる様々な問題の解決を支援するための研究や技術開発を行っています。

地球レベル

衛星画像を用いた全球マッピング

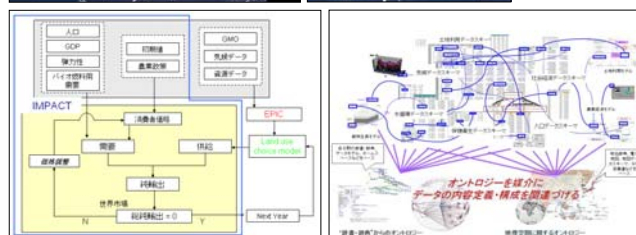
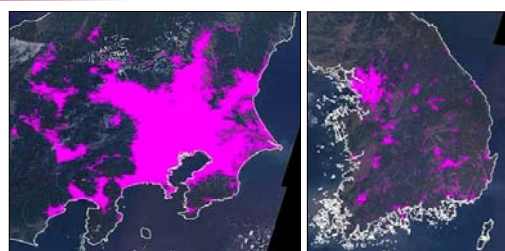
地球観測衛星の観測データを使って、道路や都市域の抽出など地表面の様子を地図データとして記録する手法に関する研究を実施。

デジタルランドスケープモデリング

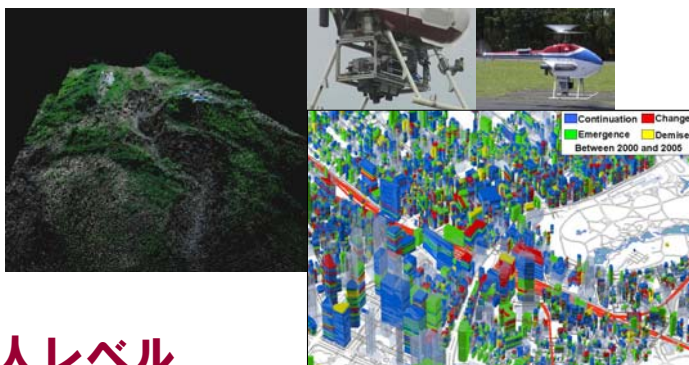
農業経済モデルと空間モデルを統合させることにより将来の食料需給を推測する手法に関する研究を実施。

情報の共有と統合環境の構築

オントロジーやメタデータ、国際標準をキーとして地球観測データの相互運用性を支援し、データ共有や相互利用を通じて、公共利益分野における政策や意思決定を支援するための研究を実施



都市レベル



都市空間の3次元マッピング

デジタルカメラ、マルチスペクトルメーター、レーザスキャナ、GPS、慣性航法装置等の様々なセンサを統合し、UAV（無人航空機）を利用し、従来のマッピング技術の利点を統合したマッピングシステムの開発研究を実施。

ミクロな空間データを利用した都市解析

住宅地図や電話帳に記載された店舗や建物の名称を自動的に地図に対応付け、テキスト照合することで、個々の店舗・事業所の変化を自動的に発見出来る手法に関する研究を実施。

人レベル

人やモノなどの移動や振る舞いの計測技術

レーザーキャナを使用し、歩行者の空間上の動きをリアルタイムに計測し、軌跡の可視化、動き方の解析などマーケティングやセキュリティ、省エネシステム等に役立てることを目的に研究を実施。

人の空間行動のモデリングと コンテキストウェアサービスへの利用

自分の行動情報を“自分情報”として主体的かつ継続的に収集・管理・利用する方式を提案。必要となるデータ構造や構造化入力支援手法、管理プラットフォームを開発し、集積した自分情報から個人行動の推定モデルや情報共有による行動支援情報の提供手法に関する研究を実施。

